

アラヤ識 V3 説明書

アラヤ識 V3 は、「アラヤ識」をより効果的に使えるようにしたオプションツールをセットにした製品です。(アラヤ識本体は既存製品の「スーパーメモ帳 アラヤ識」と同じ機能です。)

本説明書では以下のことを説明しています。

1. アラヤ識 V3 の機能
2. アラヤ識 V3 における「アラヤ識」の改良点
3. クイックエントリの新機能
4. 動作環境
5. 使用説明書について
6. プログラムのインストールと削除について

- ・アラヤ識は、富士通株式会社の商標です。
- ・クイックエントリは、日本ネイサンス株式会社の商標です。
- ・Microsoft , Windows, WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Acrobat Reader Copyright 1987-2001 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Adobe Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated アドビシステムズ社) の商標です。
- ・会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

1 . アラヤ識 V3の機能

本製品に含まれているソフトウェアとその機能は以下のとおりです。
詳しくは、それぞれのツールの説明書をご覧ください。

アラヤ識

日常の備忘録 , 論文等の文書管理 , 電子メール保管庫 , ファイル索引簿 , 書類管理 , ホームページのスクラップブックなど、個人の所有するあらゆる情報の管理に使用できます。一件の情報は、大分類・小分類・サブジェクト・テキスト・日付・数値・添付ファイルで構成されており、簡便な操作で情報の登録や任意の文字列による検索ができます。

クイックエントリ

電子メールおよびファイルをアラヤ識に纏めて登録することのできるツールです。電子メールおよびファイルのテキスト部分が、アラヤ識のテキスト欄に登録され、電子メールおよびファイルの本体は添付ファイル欄に登録されます。

登録できるファイルの形式は以下のとおりです。

- ・ Microsoft Excel97 ~ 2003 (XLS 形式)
- ・ Microsoft PowerPoint97 ~ 2003 (PPT,PPS 形式)
- ・ Microsoft Word97 ~ 2003 (DOC 形式)
- ・ OASYS V6,V7,V8 (OAS,FMT,OA2,OA3 形式)
- ・ 一太郎 4,5,6,7,8,9,10 (JTD,JTT,JFW,JVW,JBW,JAW,JSW 形式)
- ・ テキスト (TXT 形式)

また、電子メールソフトウェアは、Microsoft Outlook Express5.x,6.0 及び Microsoft Outlook97 ~ 2003 を対象としています。

アラヤ識データ登録ツール EasyEntry

アラヤ識本体に代わり、テキスト情報をアラヤ識に登録することのできるツールです。本ツールを起動すると、画面に小さなウィンドウが表示されます。ファイル、メール、ホームページなどを開いた状態で、テキスト情報を選択して、そのウィンドウにコピー&貼り付けるかドラッグすることにより、そのテキスト情報をアラヤ識に登録することができます。また、同ウィンドウから、アラヤ識の添付ファイル欄にファイルやホームページの URL を登録することができます。本ツールで URL を登録すると、自動的にそのホームページのショートカットファイルが作成されます。

なお、本ツールでは、上記以外の項目には情報を登録することができません。

アラヤ識項目名変更ツール

インストールされた直後は、アラヤ識の登録情報の項目名は、前述のアラヤ識の項で説明したとおりとなっていますが、この項目名を利用者の好みに合わせて変更することのできるツールです。

アラヤ識キャビネット

アラヤ識に登録できる情報件数は 32,000 件となっています。これらの情報は一つのファイルに格納されますが、アラヤ識キャビネットは、この登録ファイルを簡便な操作で入れ換えることのできるツールです。入れ換えることのできるファイルの数は 10 ファイルまでです。分類欄のコンボボックスの内容や項目名変更ツールで変更された項目名もファイルに付随して入れ換えられます。

アラヤ識リカバリーツール

アラヤ識は、最高速の検索速度を引き出すために、データファイルをメモリー上に取り込んで処理を行っており、登録・変更された情報は、アラヤ識が終了する時点でハードディスクに書き込まれます。そのため、アラヤ識が何かの原因で正常に終了しなかった場合は、登録・変更された情報は、ハードディスクに反映されません。

そのようなことが発生した場合に、本ツールで、消失した情報を中間ファイルから復旧させることができます。

2 . アラヤ識 V 3 における「アラヤ識」の改良点

- ・ 画面のサイズに合わせて、テキスト欄が広がるようになりました。
- ・ 全画面表示にした場合、テキスト欄が画面に合わせて広がるようになりました。
- ・ 印刷機能を拡張しました。
印刷する項目を自由に指定できるようになりました。
1 件ずつ印刷と、連続印刷の選択が出来るようになりました。
[登録・修正・削除]画面でも、印刷が行えるようになりました。
- ・ [登録・修正・削除]画面で、保存確認メッセージの位置を使い易い場所に変更しました。
- ・ テキスト欄を別ウインドウ(テキスト表示ウインドウ)に表示できるようになりました。テキスト表示ウインドウ内のフォントは自由に大きさを指定できます。
- ・ 添付ファイル欄に、インターネットエクスプローラのアドレスをドラッグアンドドロップ出来るようになりました。また、その際にショートカットを作成し、そのフルパスを添付ファイル欄に表示します。

3 . クイックエントリの新機能

- ・ クイックエントリが Microsoft Outlook に対応しました。
OutlookExpress と同様に、Microsoft Outlook のメールデータを取り込むことができます。

4 . 動作環境

アラヤ識 V3 は以下の環境で動作します。

OS (注1)

Microsoft Windows98/SE

Microsoft WindowsMe

Microsoft WindowsNT4.0(SP3 以上)

Microsoft Windows2000

Microsoft WindowsXP

(注1) Windows95 で使用される場合は、Internet Explorer5.x 以上をインストールして下さい。

アプリケーションプログラム

クイックエントリでは、取込むファイルにより、以下のアプリケーションプログラムが必要となります。

- ・ 電子メールの取込み ; Microsoft Outlook Express5.x,6.0
Microsoft Outlook97 ~ 2003
- ・ Excel ファイル取込み ; Microsoft Excel97 ~ 2003
- ・ Word ファイル取込み ; Microsoft Word97 ~ 2003
- ・ PowerPoint ファイル取込み ; Microsoft PowerPoint97 ~ 2003
- ・ 一太郎ファイル取込み ; Microsoft Word97 ~ 2003
Microsoft Word の一太郎コンバータ
- ・ OASYS ファイル取込み ; OASYS V6,V7,V8

(注) Microsoft Word2000、Office2002 又は Word2003、OfficeXP を「標準」インストールした場合、一太郎コンバータはインストールされませんので、追加インストールが必要です。

ハードウェア

- ・ CPU ; Pentium120MHz 相当以上()
- ・ メモリー ; 64MB 以上()
- ・ 空きハードディスク容量 ; 最大インストールの場合 62MB 以上
最小インストールの場合 7MB 以上
データ用及び作業用に別途容量が必要
となります。
最小インストールはアラヤ識のみがイ
ンストールされます。詳しくは個々の
ツールの使用説明書を参照願います。
- ・ ディスプレイ解像度 ; 800×600 以上
()ご使用の OS の必要システム以上

5 . 使用説明書について

使用説明書は、プログラムと一緒にアラヤ識フォルダの中にインストールされます。使用説明書は PDF 形式で作成されていますので、使用説明書を読むにはアドビシステムズ株式会社の Acrobat Reader が必要です。ご利用のパソコンに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、インストール CD にある Acrobat Reader をインストールして下さい。

6 . プログラムのインストールと削除について

インストール CD をセットしますと、インストーラが自動的に起動されますので、画面の指示に従ってプログラムをインストールして下さい。プログラムの削除も同様にインストール CD をセットして、画面の指示に従って操作して下さい。

詳しくは、readme に書かれていますので、そちらを参照して下さい。インストール CD をセットした後に表示される初期画面で、「readme を読む」を選択すれば、readme が表示されます。

以上

2004 年 4 月

日本ネイサンス株式会社